

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/11/21

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.69	0.16
JPY/THB	0.2232	-0.0001
USD/JPY	155.44	0.78
EUR/THB	36.56	-0.03
EUR/USD	1.0544	-0.0052
USD/CNH	7.251	0.015
SGD/THB	25.82	0.00
AUD/THB	22.57	0.01
USD/INR	84.41	0.00
USD Index	106.68	0.47

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.216	0.002
10Y (THB)	2.446	0.000
5Y (USD)	4.279	0.016
10Y (USD)	4.410	0.014

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,651.7	20.7
WTI (Oil)	68.87	-0.52
Copper	9,089.5	2.0

## Stock

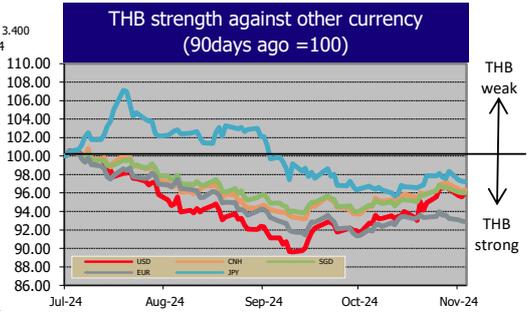
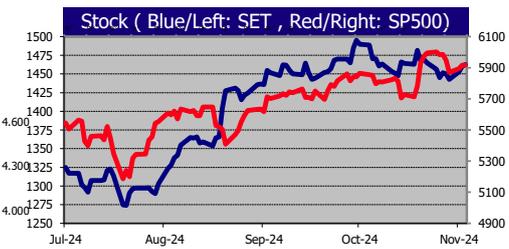
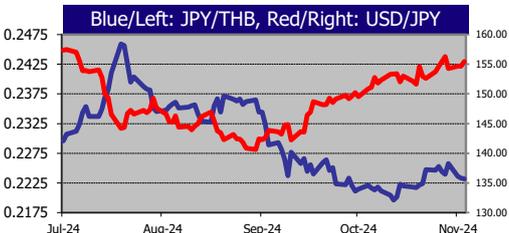
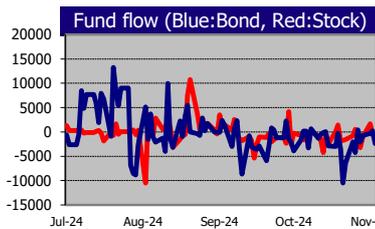
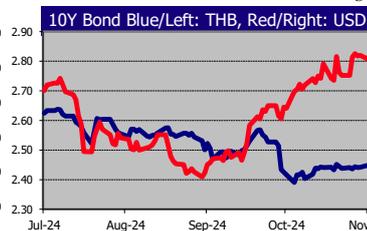
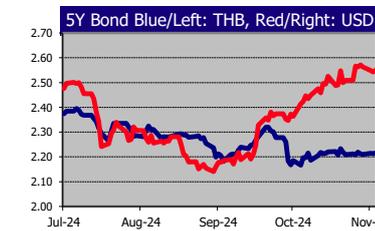
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,462.48	2.37
NIKKEI (JP)	38,352.34	-62.09
DOW (US)	43,408.47	139.53
S&P500 (US)	5,917.11	0.13
SHCOMP (CN)	3,367.99	21.98
DAX(GER)	19,004.78	-55.53

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,352)	-887.3
Bond net flow	(2,373)	-2577.7

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。34パーツ半は付近でスタート。ロシア・ウクライナ情勢を巡る地政学リスクが高まる中で、バンコク時間は同水準での推移が続いた。欧州時間に入ると、英10月CPIが強い結果となったことを受け、欧米金利の上昇につられて34パーツ後半まで上値を伸ばした。しかしNY時間午前中にウクライナが英供与のミサイルでロシアを攻撃との報道が伝わると、上昇幅をほぼ全て戻す展開となった。午後にはパウマンFRB理事の「追加利下げは慎重に」との発言を受け、再度ドル高に振れ、34.69レベルでクローズ。

### ●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。154円台後半でスタート。前日海外市場で強まったリスク回避の円高が一服し、五・十日の実需のドル買いもあり、東京時間では155円半ば付近まで上値を伸ばした。欧州時間には155円台後半を中心とした堅調推移が続いた。しかしNY時間にロシア・ウクライナ紛争激化のヘッドラインを受け、一時155円ちょうど付近まで急落。その後、パウマンFRB理事が追加利下げに慎重な姿勢を示したことや、米金利が上昇に転じたことを受け、徐々に値を戻し、155.44レベルでクローズ。

## Bangkok Dealer's Eye

今週に入り、これまでのトランプトレードを背景としたドル買いの勢いは一旦落ち着きつつあり、パーツも先週のパーツ安の流れから一転、今週はじりじりとパーツ高方向へ戻す展開が続いている。他方、先週から個人的に注目している人民元の動きはというと、ドル買いに一巡感出るなかで元安地合いこそ収まっているものの、かといってパーツのように元高方向に反転しているわけでもなく、アジア通貨(除く円)の中では相対的に弱さが目立つ。人民銀行の仲値が先週半ば以降、実勢よりも元高水準で継続設定されていることから、政府主導で元安進行を防衛しているとの表現のほうが実態に近い。先週発表された中国の一連の10月経済指標を見ると、小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資などで底入れの動きが確認される一方、幅広い経済活動の行方を左右すると言われている不動産投資は引き続き低迷しており、景気の先行き見通しが立ちにくい状況に変わりはない。来年のトランプ大統領就任で米中間の貿易を巡る緊張が高まれば、ますます中国の経済動向は不透明なものとなろう。足元ではウクライナ情勢を巡って地政学的な緊張も高まっており、人民元の軟調な動きとも相俟って、パーツを含めたアジア通貨に突発的な売り圧力がかかる展開に注意しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.